

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (ペンション&レストランHIROSTRADA)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			雇用に於いては『求人Naviながの』及び『タイムー』を主として利用しており、差別の無い雇用を推進している。 また、心的障害者顧客(特別学級・特別学校・パラリンピックを目指すスポーツ選手等)の受入れ等、積極的					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			殊、アルバイトに対しては、雇用主・被雇用者でハラスメントに対する申し合わせをしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	人材不足の影響で、経営者本人及び経営者家族に掛かる時間的負担は大きく、調理器具や芝刈機等のオートメーション化、営業時間の短縮等を策を講じているが、顕面な効果は得られているとは言えず、更なるコスト削減に努める予定である。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	開業以来23年間、外国人からの従事募集が皆無であるが、募集があれば差別や人権侵害のない雇用を進める予定で計画を策定済みであり、従業員への共有も施している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			基本的には調理作業となるが、衛生管理の徹底を月に一度見直し、事故防止に努めている。また、調理器具の点検等は毎日経営者自身が行っている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			経営者を含めた家族が主な労働者である為、日頃からメンタルヘルスの管理は徹底している。また、短期労働者であっても数年来の雇用関係があるアルバイトに関しても、同様の管理を施している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			経営者を含めた家族が主な労働者であり適材適所の労働を推進しているが、素性の不明な日雇いアルバイト等には、労働の得手不得手等ヒアリングを行い配置するようにしている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			経営者を含めた家族が主な労働者であるが、毎年資格取得や語学向上を含めた自己啓発の目標を掲げ邁進している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			雇用形態、年齢等に関わらず同一労働同一賃金の原則に沿っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			短期や日雇いであっても数年来のアルバイトを言及に従業員にはインフルエンザの予防接種費負担等、行っている。また、経営者含めた家族(労働者)の定期健診は毎年行っている(経費計上できない為、経営者負担)。 ・須取市ゴミ収集規則に則り行っている ・グリストラップの清掃等は専門業者に依頼しマニフェストを提出してもらっている ・店舗改装等で出た廃棄物に関しては、工務店に依頼			3				8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)														11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・月間電気使用量の把握 ・月間灯油燃料使用量の把握							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・稼働率と稼働日ロイロ数値化 ・客室窓を省エネサッシ窓に更新 ・省エネボイラーへの更新 ・省エネ調理機器への更新							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			食品関連品、修繕に係る建材、新規什器・家電等、有害化学物質を含む製品は使用していないことを把握している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			昨年、漸く下水の工事も終わり、概ね自然環境を破壊し得る懸念は排除された。逆に熊害問題は深刻である。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			ゴミの分別に気を配り、再生可能資源に於いてはスーパー等各回収に充てている。また、可能な限り粗大ゴミを出さない様、リサイクルショップへの売却や希望者への無償譲渡等にも取り組んでいる。											13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			使用水量を把握しており、館内を自動水栓化する等、使用量の低減を策定している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)	【非該当】		現段階で、ISO14001、エコアクション21共に取得に対する予算を確保できず、取得には至っていない。但し、エコアクション21の環境への取組自己チェックシートを利用したエコマネジメントを行っている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)	【非該当】		人員不足に依り、環境報告(開示)する時間が取れず行っていないが、顧客との会話の中で発信することが多い。													12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域性により、再生可能エネルギーの利用が困難(設置に掛かる消費エネルギーに見合ったエネルギーが得られない・自然環境の破壊に繋がる)な為、行っていないが、ソーラーライトの設置等出来得る範囲で行って							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			認証製品の食品を多用しており、修繕に係る建材に関しては天然素材を100%利用している。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			個人事業主なので、汚職・贈収賄、その他軽微なものを含め、犯罪は廃業に直結する為、十二分に注意するよう日々申し伝えている。															16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			『不正競争の定義』及び『国際約束に基づく禁止行為』に抵触しないよう努め、従業員に共有している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			知的財産に係る業務内容はほぼ無いものの、殊提供料理は通称(検索したレシピを使用する場合等)で提供するなど、知的財産保護法に触れない配慮をしている。また、風呂に閉!ても商標権を取るなど自衛もして								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			個人情報は警察や司法に依る法的な開示請求が無い限り、金庫保管としている。																	16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			紛争鉱物は取り扱っておらず、今後も取扱うことはない。																	16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			事業パートナーと、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいるが、サプライヤー(仕入れ業者)とは行っていない。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	『パートナーシップ構築宣言』を作成・公表予定。			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・食品管理の徹底 ・衛生管理の徹底 ・各種感染症への対策 ・危険箇所の洗い出しと早期対策			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・食品管理の徹底 ・衛生管理の徹底 ・清掃点検の徹底 ・各種感染症への対策 ・危険箇所の洗い出しと早期対策									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			業務形態上、主たる環境配慮としては地産地消が挙げられ、閑耕期以外は積極的な地産地消に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			摂取量や好き嫌いの事前ヒアリングで食品ロスを削減する、高齢者向けのメニューを開発する等、社会課題を解決するサービスを展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			近隣施設には無いニッチな分野を開拓し、地域の潜在的魅力の発信に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域の清掃や環境整備管理保全等、積極的に行っている。				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・季節に依るが地産地消を心掛けている ・地域の特産物を多用し長野の魅力を発信している								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			経営理念及び経営目標を設定し、アルバイトを含めた従業員に共有、見直しが必要な場合は適宜追加又は対応している。									8	9							17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			法令順守を徹底しているが、例えば派遣会社を通じた日雇いアルバイトへの徹底は派遣会社との協議の上成り立っており、個人には一般的な確認として済ませている。																	16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			無料セミナーへの参加や参考書物の購読、専門家との会談等、経営者本人が行っている。																	16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			顧客との会話から、ニーズとウオンツを吸い上げ、顧客へ良い影響が齎されるよう、適宜対応している。																	16 17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			各種保険への加入や地域に起こり得るリスクの洗い出しを定期的（保険会社担当、商工会議所・近隣同業者）に行い、想定される様々なリスクに対応できる環境を整えている。																	16
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			CSRの7主題に基づいた取組を行っているが、人員不足や予算確保の困難さが足枷になることも多い。																	16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			損害保険会社との打合せ等、事故や災害からの復興、及び事業継続計画を毎年更新している。									9		11		13 13.1				16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			後継者の育成を2019年より行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
省エネに向けた深築年数建物に適切対応する改修		・窓サッシの改修・ボイラーの改修・空調設備の改修等・非常灯や誘導灯を含めた全照明のLED化・パブリックスペースの水道の自動水栓化							7.2 7.3					12.4	13.3				
バリアフリー化と高齢者・障害者への補助活動		・急傾斜地での安全な階段（迂回・低段差への改修）の設置・館内段差部への段差解消材設置・顧客高齢者（歩行補助等）、障害者（筆談等）への補助										10.2 10.3							
定期的な環境整備と保全		周辺地域の定期的な清掃や之刈、等隣家との協議による雑木の伐採等、環境の整備と保全の為の活動を行っている				4							11			14	15		17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定